

令和4年11月4日
運輸安全委員会

九州旅客鉄道株式会社豊肥線において発生した鉄道重大インシデント (車両障害)に関する情報提供

運輸安全委員会は、令和4年10月17日に九州旅客鉄道株式会社豊肥線において発生した鉄道重大インシデント(車両障害)に関して、現在、調査、分析等を実施中ですが、これまでの調査において明らかになった事実情報について、令和4年11月4日、国土交通省鉄道局へ情報提供を行いました。

1. 鉄道重大インシデント(車両障害)の概要

発生日時 令和4年10月17日(月) 6時30分頃

発生場所 豊肥線 豊後萩駅～豊後竹田駅間 [大分県竹田市]

概要 豊後萩駅発、豊後竹田駅行き第4427普通列車の運転士は、豊後竹田駅に到着後、乗客から「走行中にドアの1ヶ所が開いたり閉まったりしていた」との申告を受けた。九州旅客鉄道株式会社が運転状況記録装置を確認したところ、列車の進行方向右側の側引戸が開く指令が記録されていた。

なお、開いた扉から車外へ転落した乗客はいなかった。

2. 鉄道局への情報提供の内容

情報提供の内容は、別添のとおり。

なお、本重大インシデントと情報提供の内容との関係は現在調査中であり、本重大インシデントの原因等については、今後詳細な調査を行う予定です。

【問い合わせ先】

運輸安全委員会事務局 広報室 川島、片山

電話 03-5367-5025 (内線 131、132)

03-5367-5027 (直通)

九州旅客鉄道株式会社豊肥線において発生した鉄道重大インシデント（車両障害）に関する情報提供

これまでの事実調査で、以下の事実が明らかになり、同様の事象が他の鉄道事業者で生じている可能性があるため、関係の情報を提供する。

事実情報の内容

- ・ 本重大インシデントが発生した車両（キハ125）の調査において、走行中に開いた側引戸の戸閉め保安回路¹⁾の一部を構成している継電器²⁾（VSAR3）が動作しないことが判明した。〔別紙1参照〕
- ・ 九州旅客鉄道株式会社が所有する同形式の他の車両を調査したところ、26両中8両で同様の継電器（VSAR2、VSAR3）が動作しなかった。
- ・ 継電器が動作しない原因を調査したところ、電線が誤結線されていることが判明した。〔別紙2、3、4参照〕



1) 戸閉め保安回路：乗務員のドア開閉スイッチの誤操作等によって列車が一定速度（一般的には3～5 km/h）以上で走行中、ドアが開閉しないようにするための回路。

2) 継電器：ある回路の電流の断続に伴って別の回路の接点を開閉する装置

戸閉め保安回路の継電器（VSAR3）の搭載位置

別紙1

運転室背面（豊後萩駅側）

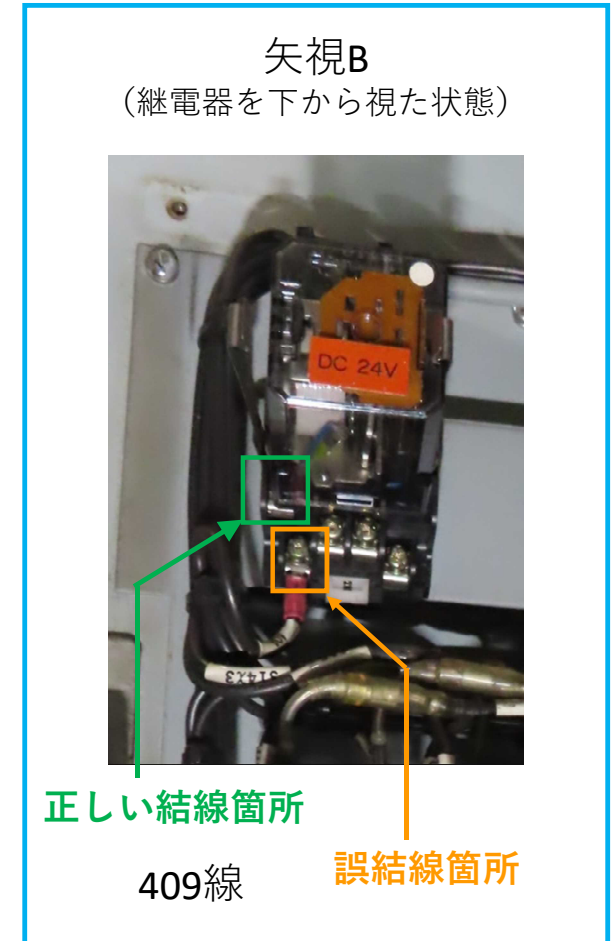
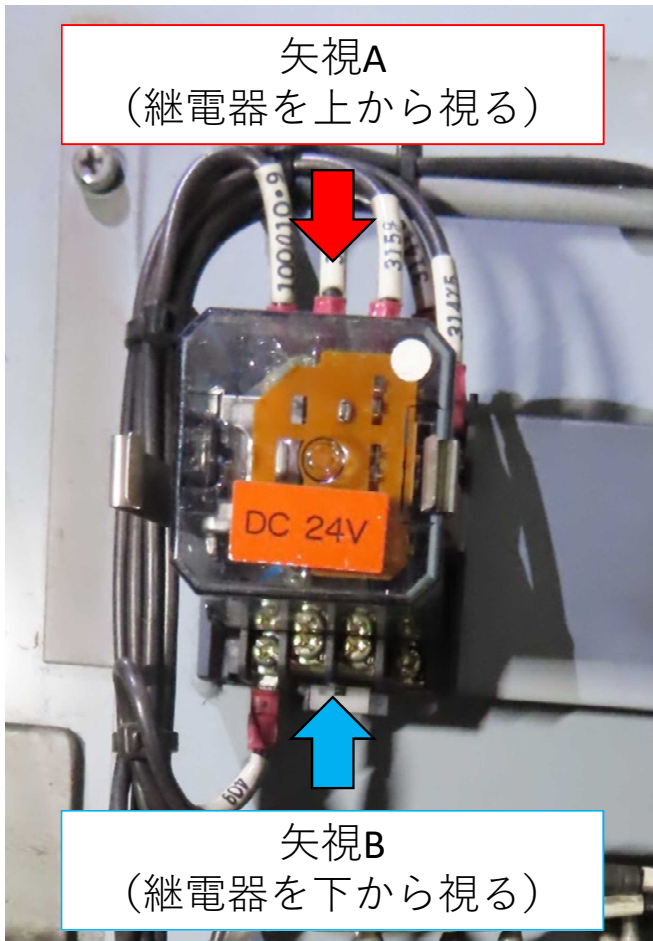


カバーを外す前



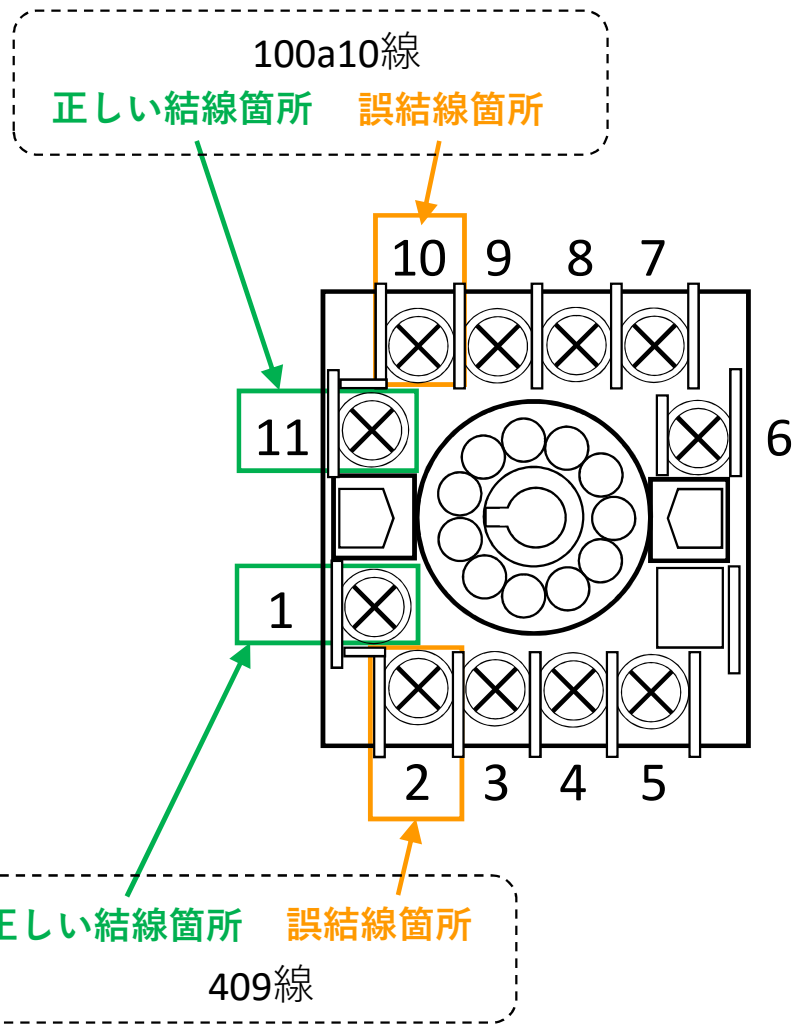
本重大インシデント発生車両の結線状態

別紙2

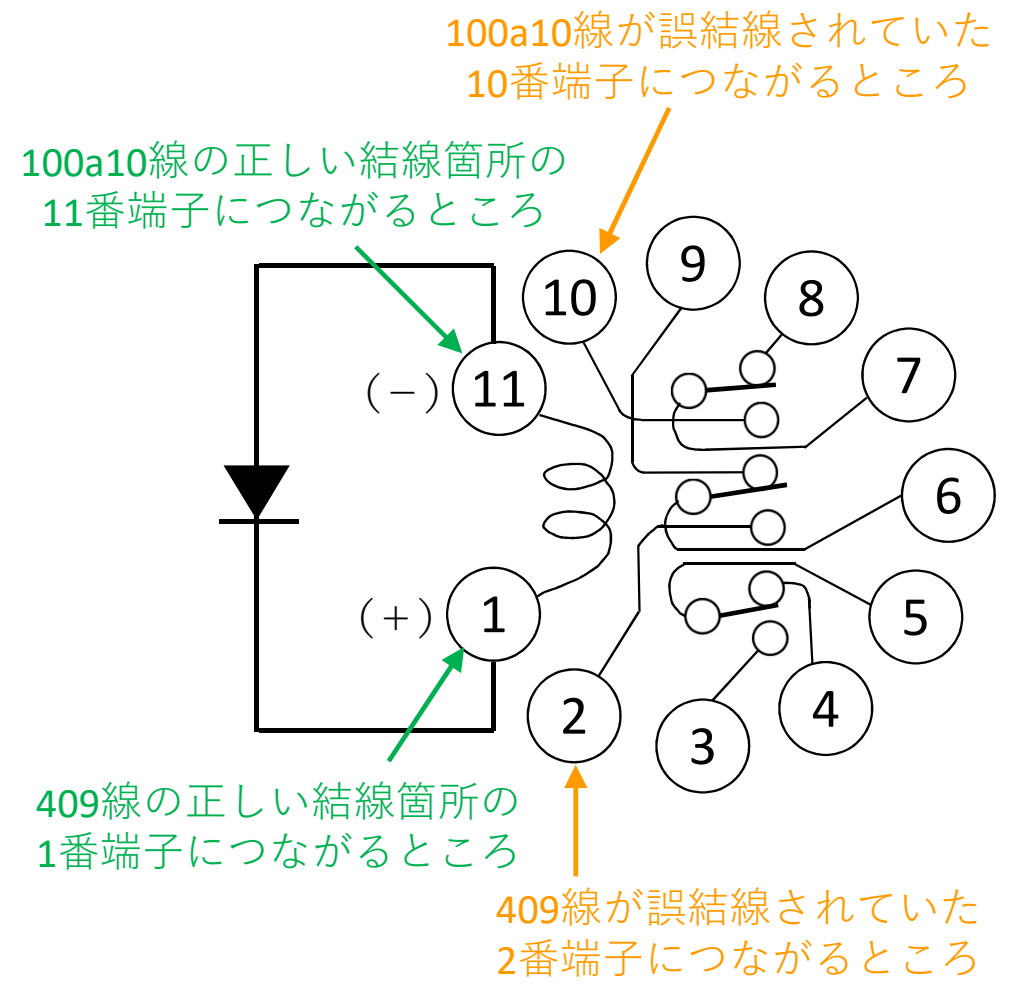


409線：継電器のコイルの電源（+側）
100a10線：継電器のコイルの電源（-側）

ソケット 概略図



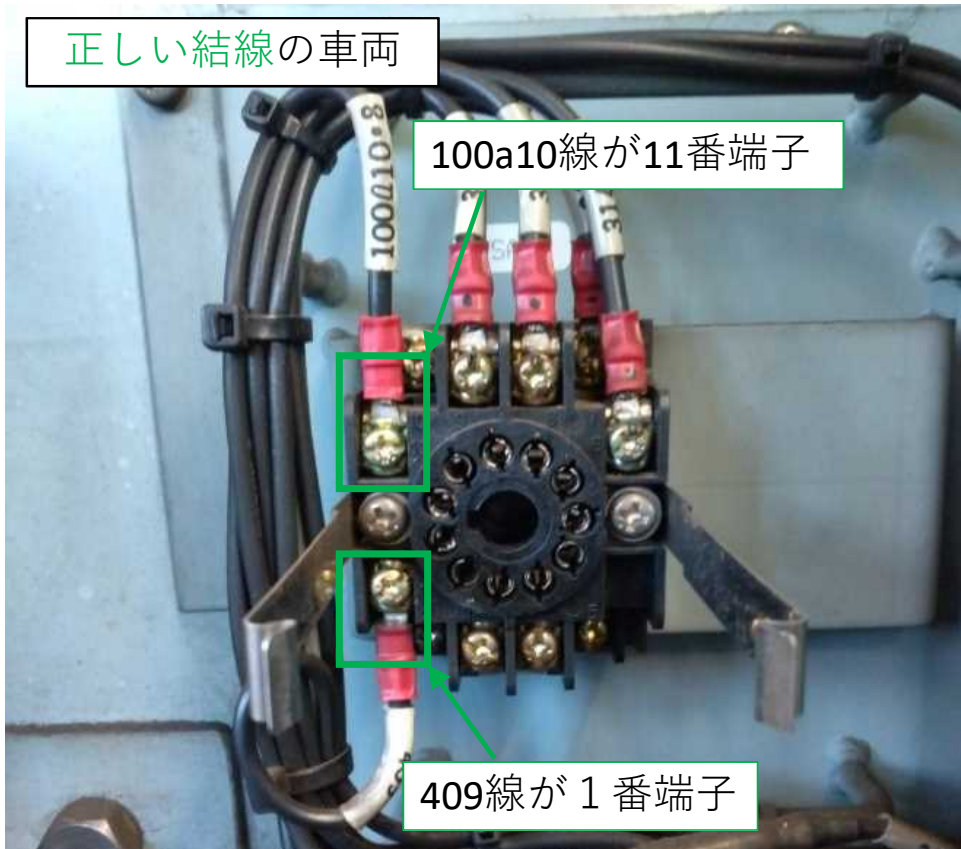
継電器の内部回路 概略図



同形式の他の車両の結線状態

別紙 4

正しい結線の車両



誤結線の車両

